

〔日本家族看護学会 国際交流委員会活動報告〕

## 日本家族看護学会と諸外国との情報交換と交流促進： 第1回日中韓看護学会を中心とした活動報告

法橋 尚宏<sup>1)</sup> 河原 宣子<sup>2)</sup> 小林 京子<sup>2)</sup>

日本家族看護学会国際交流委員会は、諸外国（とくにアジア圏の国）との情報交換と交流促進、さらに連絡協議会の発足に向けての活動を行ってきた<sup>1)</sup>。2008年度にはアジア圏で家族看護学の実践・教育・研究に関する調査を実施した<sup>2)3)</sup>。2009年度は、さらなる情報交換と連絡協議会発足への基礎として、中華人民共和国（中国）で開催された国際学会において、日本家族看護学会を紹介する演題を発表し、2011年に日本家族看護学会が主催する第10回国際家族看護学会議（10th International Family Nursing Conference：10th IFNC）の広報活動を行ったので、ここに報告する。

### 1. 第1回日中韓看護学会における日本家族看護学会を紹介する演題発表

第1回日中韓看護学会（1st China-Japan-Korea Academic Exchange Conference on Nursing）の前身は、中華護理学会（中国看護協会のこと）と日本看護協会が連携し、1991年から隔年で開催されてきた日中看護学会である。中華護理学会創立100周年に合わせてこれを発展させ、日中韓看護学会として第1回目が中国の北京において開催された。会期は2009年8月19日～21日で、中華護理学会と同時開催であった。参加者は1,900名以上であると推定され、中華護理学会の100周年式典が、全国人民代表大会（全人代）や中国人民政治協商会議などが行われる北京天安門近くの巨大建造物である人民大会堂（日本の国会議事堂に相当）にて催されるなど、盛大な

学会であった（写真1）。

国際交流委員会の演題名は「The current status of and issues for family nursing studies in Japan」で<sup>4)</sup>、日本から採択された53のポスター演題の1つとして発表を行った（写真2）。中国と韓国の研究者の他に、ドイツの研究者からも質問があり、演題の発表と同時に日本家族看護学会の紹介を行うことができた。



写真1. 第1回日中韓看護学会の一場面



写真2. 第1回日中韓看護学会での日本家族看護学会国際交流委員会のポスター

1) 日本家族看護学会国際交流委員会 委員長

2) 日本家族看護学会国際交流委員会 委員

## 2. 中国とアメリカ合衆国における10th IFNCの紹介活動

国際交流委員会の活動として、前述の第11回日中韓看護学会に加え、35th Annual Conference of The Transcultural Nursing Societyにて、10th IFNCの紹介を行った。後者の学会は、アメリカ合衆国のシアトルで、2009年10月14日～17日に開催された。両学会のポスター発表、レセプション、施設見学などの間ずっと国際交流委員会活動を行い、10th IFNCのポスターとハガキ、国際交流委員会が作成したチラシ（10th IFNCの案内、『家族看護学研究』誌への投稿案内）、日本家族看護学会の英語版リーフレットなどを配布した（写真3）。これらに興味深く目を通す参加者の姿もあり、少なからず効果があったと思われる。

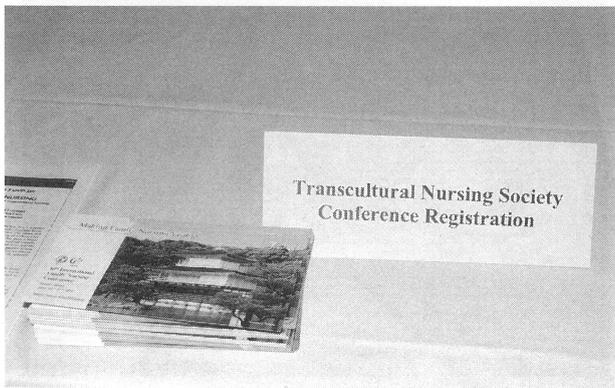


写真3. 10th IFNCでの日本家族看護学会国際交流委員会の広報活動

## 3. まとめ

過去3年間の国際交流委員会の主な活動は、  
1) 諸外国（とくにアジア圏の国）との情報交換と交流促進、連絡協議会の発足に向けての話し合い、  
2) 国外からの『家族看護学研究』誌への論文投稿の推進、3) International Family Nursing Conferenceに関する情報提供<sup>9)</sup>、参加補助、日本への誘致、4) 国外からの窓口業務である（表1）。本稿では、1)と3)に関する最近の活動を報告したが、今後も、連絡協議会の発足を目指す活動とともに、とくに10th IFNCの紹介活動をさらに進めていきたい。

表1. 過去3年間の国際交流委員会の主な活動

1. 諸外国（とくにアジア圏の国）との情報交換と交流促進、連絡協議会の発足に向けての話し合い
  - 1) アジア圏における家族看護学の教育・研究・実践に関する質問紙による実態調査
    - ・情報交流、連絡協議会発足に向けての基礎資料となる質問紙調査の実施（対象はアジア9ヶ国、325施設）
    - ・報告書を『家族看護学研究』誌に掲載、9th IFNCで調査結果のポスター発表
  - 2) 学会の英語版リーフレットの作成、学会Webへの掲載
  - 3) アジア圏の研究者の日本家族看護学会学術集会への招聘
    - ・第15回学術集会の交流セッション「香港の家族看護学の現状と課題：アジア圏での国際交流の推進」にSharron Leung 博士（The University of Hong Kong）を招聘
  - 4) アジア圏の研究者との電子メールによる家族看護学に関する情報交換と交流促進
2. 国外からの『家族看護学研究』誌への論文投稿の推進
  - 1) 『家族看護学研究』誌の投稿規定の英語版の作成、『家族看護学研究』誌に掲載
    - ・1st China-Japan-Korea Academic Exchange Conference on Nursingと35th Annual Conference of The Transcultural Nursing Societyでの論文募集案内の配布
3. IFNCに関する情報提供、参加補助、日本への誘致
  - 1) 9th IFNCに関する情報提供、参加補助など
    - ・『家族看護学研究』誌および学会Webへの情報掲載
    - ・演題登録の技術的援助（演題の日英翻訳サービス）
    - ・参加ツアーの開催（近畿日本ツーリストの協力）
    - ・報告書を『家族看護学研究』誌に掲載
  - 2) 10th IFNCの日本への誘致活動
    - ・日本への誘致に向けた趣意書作成と配布、ロビー活動
    - ・開催地決定会議での誘致に向けたプレゼンテーション（日本での開催が決定された）
4. 国外からの窓口業務
  - 1) 9th IFNCに関する日本の窓口機能
  - 2) International Family Nursing Association (IFNA) に関する日本の窓口機能

## 文 献

- 1) Leung, S, 法橋尚宏, 小林京子, ほか: 香港における家族看護学の現状・課題と国際交流の推進, 家族看護学研究, 14 (3), 102-104, 2009
- 2) Hohashi, N., Kawahara, N., Kobayashi, K., et al.: The current status of family nursing education and research in Asian countries, 9th International Family Nursing Conference BOOK OF ABSTRACTS, 175, 2009
- 3) Hohashi, N., Kawahara, N., Kobayashi, K., et al.: The current status of family nursing education and research in Asian countries and promotion of international exchanges, Japanese Journal of Research in Family Nursing, 14 (3), 75-77, 2009
- 4) Kobayashi, K., Hohashi, N., Kawahara, N., et al.: The current status of and issues for family nursing studies in Japan, Centennial Celebration of Chinese Nursing Association: Thesis Compilation, 239-241, 2009
- 5) 法橋尚宏, 河原宣子, 小林京子: 第9回国際家族看護学会の見聞録および国際交流委員会主催参加ツアーの報告, 家族看護学研究, 15 (2), 153-155, 2009